

面積: 225,171平方キロ

(日本の本州とほぼ同じ)(全米50州中12位)

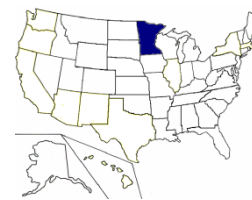
人口: 5,830,405人(2025年国勢調査推計値)(全米22位)

(白人82%, 黒人8%, ヒスパニック7%, アジア6%)

(2025年国勢調査推計値)

州都: St. Paul 愛称: Land of 10,000 Lakes

ミネソタ州概要



令和8年3月現在
在シカゴ総領事館

政治

【州政治】

1. 知事: ティム・ウォルズ (Tim Walz)(民)
2019年1月就任、現在2期目

2. 議会構成: 二院制
上院議席数 67 民主党 34 共和党 33
下院議席数134 民主党 67 共和党 67

3. 内政状況:
1976年来大統領選挙では民主党候補が勝っており、2024年選挙も4ポイント差で勝利した。民主党(注: 民主農民労働党(Democratic Farmer-Labor Party): 1944年に民主党と農民労働党が合併して誕生。便宜上「民主党」と表現されるが、ミネソタ州選出の民主党議員は皆DFL党に所属)が州の高位公選職の多くを占めるなど、同州は伝統的にリベラルかつポピュリストの傾向が強いとされる。知事職は、2011年に民主党が20年ぶりに取り戻して以来、同党所属知事が続く。2022年の選挙では、ウォルズ知事(民)が再選された。州議会では、両院いずれも勢力が拮抗しており、難しい議会運営が続く。

歴史的にミネソタ州の投票率は高く、2020年は全米1位。

州内には、難民として移住してきたモン族系(70年代)、ソマリア系(90年代)住民などがコミュニティを形成。現在モン系複数名が州議会議員を務め、2025年に初のモン族出身のセントポール市長が誕生(初の女性市長)。連邦議会でも2018年、オマール議員が全米初のソマリア系下院議員となった。

2024年の大統領選挙では、ウォルズ知事がハリス副大統領(当時)に指名され、民主党副大統領候補として選挙を戦った。本年の州知事選挙には、同知事は不出馬を表明。

【連邦政治】

- 大統領選挙人数: 10名
- 2024年大統領選挙における勝利政党:
民主党(得票率50.1%)
- 連邦上院議員(議席数2名)
エイミー・クロボチャー (Amy Klobuchar)(民)
ティナ・スミス (Tina Smith)(民)
※本年スミス議員の議席が改選対象。
- 連邦下院議員(議席数8名) 民主党4名 共和党4名

経済

【州経済】

- 主要産業: 不動産、製造業(電子機器、食料)、金融・農業: 穀物(トウモロコシ、大豆)、畜産(豚)¹
- GDP: 5,358億ドル(2025年)¹
- 1人当たり個人所得: 79,182ドル(2025年)¹
- 失業率: 4.1%(2025年12月)²
- 輸出額: 23,506百万ドル(2025年)³
- 主要輸出品目: 電算電子機器、一般機械、輸送用機器、その他製造品、加工食品³
- 輸出相手国(2025年):
カナダ(24%)、メキシコ(15%)、中国(7%)、日本(4%)³
- 財政: (2023年度)³
歳入: 60,091百万ドル
歳出: 56,468百万ドル
債務残高: 17,081百万ドル
- 経済状況

ミネソタ州はツインシティと呼ばれるミネアポリスとセントポールを中心に商業が発展しており、大手小売のターゲット、家電大手のベストバイ、3M等が本部を置いている他、メイヨークリニックがあり、医療機器産業が集積。トウモロコシ、大豆ともに全米有数の生産量を誇り、豚肉生産は全米第2位⁴、主要農業州の一角を形成。バイオエタノール政策にも力を入れており、E85のガソリンスタンド数は全米で第2位の数。⁵

【対日経済】

- 対日輸入額: 570百万ドル(2025年)³
- 主要輸入品目: 一般機械、電子電算機器、化学製品、その他製造品³
- 対日輸出額: 969百万ドル(2025年)³
- 主要輸出品目: 電算電子機器、その他製造品、一般機械、加工食品、農産物³
- 日系企業の進出数/雇用数:
105事業所/7,846人(2025年)⁶
- 日米中西部会には2002年脱退後、2007年に復帰。

出典: 1: Bureau of Economic Analysis, 2: Bureau of Labor Statistics, 3: U.S. Census Bureau, 4: U.S. Department of Agriculture, 5: U.S. Department of Energy, 6: Consulate-General of Japan in Chicago

日本との関係

【要人往来】

(往) 10年9月 ポーレンティ知事が貿易ミッションを率いて訪日。11年9月 デイトン知事、19年9月 ウォルズ知事、23年9月 ウォルズ知事、フラナガン副知事が日米中西部会出席のため訪日。
(来) 01年4月 常陸宮同妃両殿下がミネソタ大学名誉学位授与式ご出席等のため御来訪。25年には長崎とセントポール市の姉妹都市提携が70周年の佳節を迎え、長崎市長含む両市市民が相互に訪問、交流を深めた。

【文化・広報関係】

ミネソタ日米協会が活発に活動(1972年創設)。同協会が中心となりセントポールでは毎年8月、灯籠祭が行われているほか、ミアポリスでは毎秋モンデール賞・奨学金授与式が開催されている。2022年の設立50周年には外務大臣表彰を受賞。ミネアポリス美術館の日本美術コレクションは全米屈指で、特に浮世絵コレクションが有名。2012年の日米桜寄贈100周年記念事業ではセントポール市とウィノナ市に苗木を寄贈。

【日本人学校・補習校数】

補習校2校(セントポール、エダйна)

【姉妹都市関係(10)】

長崎市(長崎県)ーセントポール
茨木市(大阪府)ーミネアポリス
湯浅町(和歌山県)ーケンブリッジ
湯浅町(和歌山県)ーブラハム
いすみ市(旧大原町)(千葉県)ーダルース
秋田市(旧雄和町)(秋田県)ーセントクラウド
和泉市(大阪府)ーブルーミントン
伊方町(愛媛県)ーレッド・ウィング
美里町(旧小牛田町)(宮城県)ーウィノナ
白河市(旧大信村)(福島県)ーアノーカ

【名誉領事】

ロナルド・レオンハート(ミネアポリス)

【国際交流基金米国若手日本語教員】

澁谷こはる(～2027年7月:ハーディング高校派遣)